

## ぬのめ 布目ダム 布目川の洪水被害を軽減

きづがわすいけいぬのめがわ みずしげんきこう ぬのめ  
木津川水系布目川の水資源機構が管理する布目ダム流域では、前線に伴う降雨により、6月1日22時から6月3日8時までの総雨量が162mmに達し、ダムへの最大流入量は毎秒約148立方メートルを記録しました。

この洪水に対して、布目ダムでは防災操作<sup>\*</sup>を実施し、ダム下流の興ヶ原水位局観測所付近で、河川水位を約0.1m低減(推定)させることにより、下流沿川の洪水被害軽減を行いました。

※『防災操作』とは、大雨などによりダム湖に流れ込む洪水の一部を貯水池に貯め込み、洪水を小さくして、ダム下流の河川に流すことを言います。

※今回の発表は速報値であり、今後の調査等により数値等が変わることがあります。

令和5年6月7日



独立行政法人水資源機構  
きづがわ  
木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

奈良県政記者クラブ

奈良市政クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所 布目ダム管理所長 久保田 くほた  
住 所：奈良県奈良市北野山町869の2  
電 話：0742(94)0231(代表)

# 布目ダム 布目川の洪水被害を軽減

6月1日、午後22時頃より降り始めた前線による降雨は、淀川水系布目川の布目ダム（奈良県奈良市）上流域で、6月2日12時から13時の1時間の雨量が最大19mm、総雨量は162mmに達し、ダムへの最大流入量は毎秒約148立方メートルを記録しました。

この洪水に対して、流入量が増加し、2日12時10分には洪水量（毎秒100立方メートル）に達したため、防災操作を開始しました。

## 今回の防災操作の概要

	流域平均総雨量	ダムの減水効果が最大となった時刻	同時刻におけるダムへの流入量	同時刻におけるダム流下量	ダムに貯留した量
布目ダム	162mm	令和5年6月2日 13時20分	毎秒148m <sup>3</sup> /s	毎秒106m <sup>3</sup> /s	毎秒42m <sup>3</sup> /s

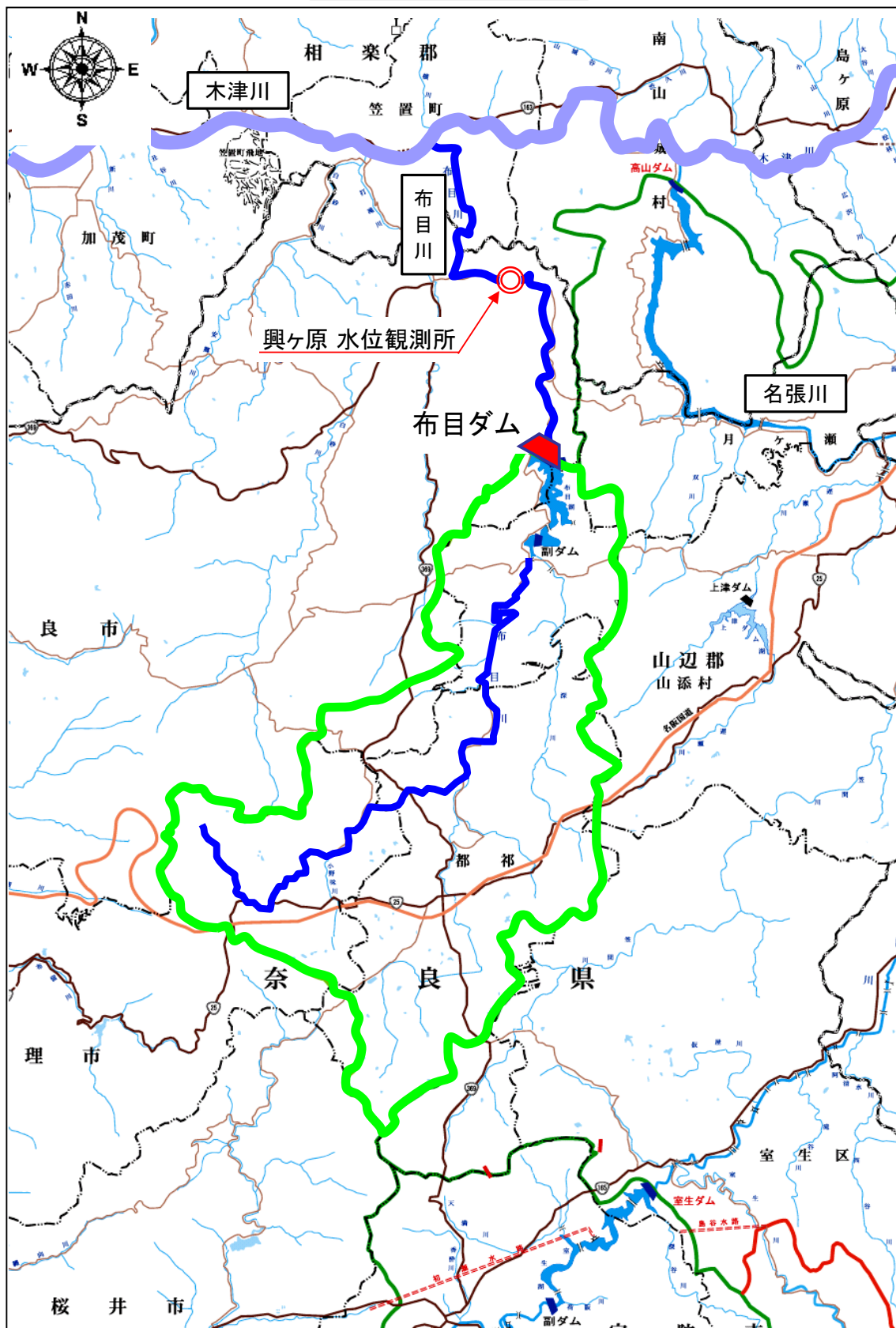
## これまでの布目ダムにおける管理開始以降の最大出水記録

	記録年月日（原因）	総雨量	最大流入量
布目ダム	H29. 10. 22 (台風21号)	270mm	毎秒210m <sup>3</sup> /s

ダム下流の興ヶ原<sup>おくがはら</sup>水位観測所では、布目ダムの防災操作によりダムが無い場合に比べて河川水位を約0.1m低減したと推定され、下流の洪水被害軽減を行いました。

布目ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダム効果発現に努めて参ります。

布目ダム流域平面図

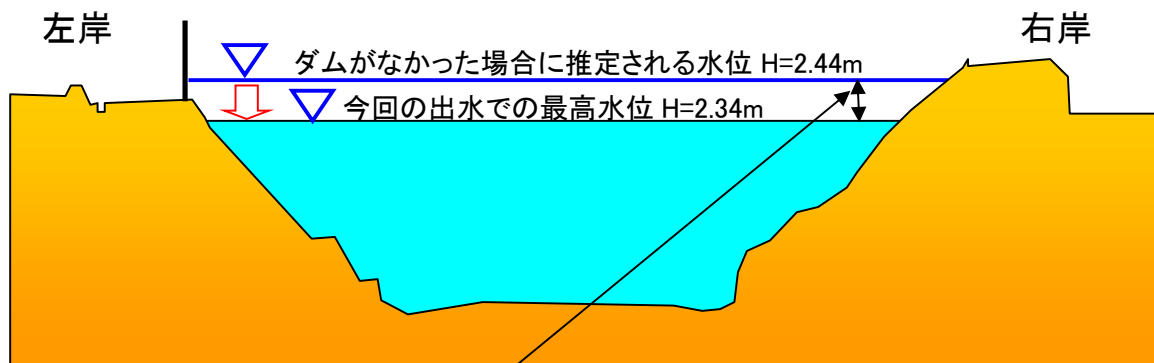


木津川 布目川 布目ダム流域

## 布目ダム下流河川の状況

令和 5年6月2日(前線)

## 布目ダムの防災操作状況(興ヶ原地点)



ダムにより約0.1mの水位低減効果がありました。

※興ヶ原地点は、ダムから約6km地点

## 布目ダム 洪水調節の実施状況(興ヶ原地点)

防災操作前の状況



6月1日 11:00  
ダム放流量 19m<sup>3</sup>/s

防災操作時の状況

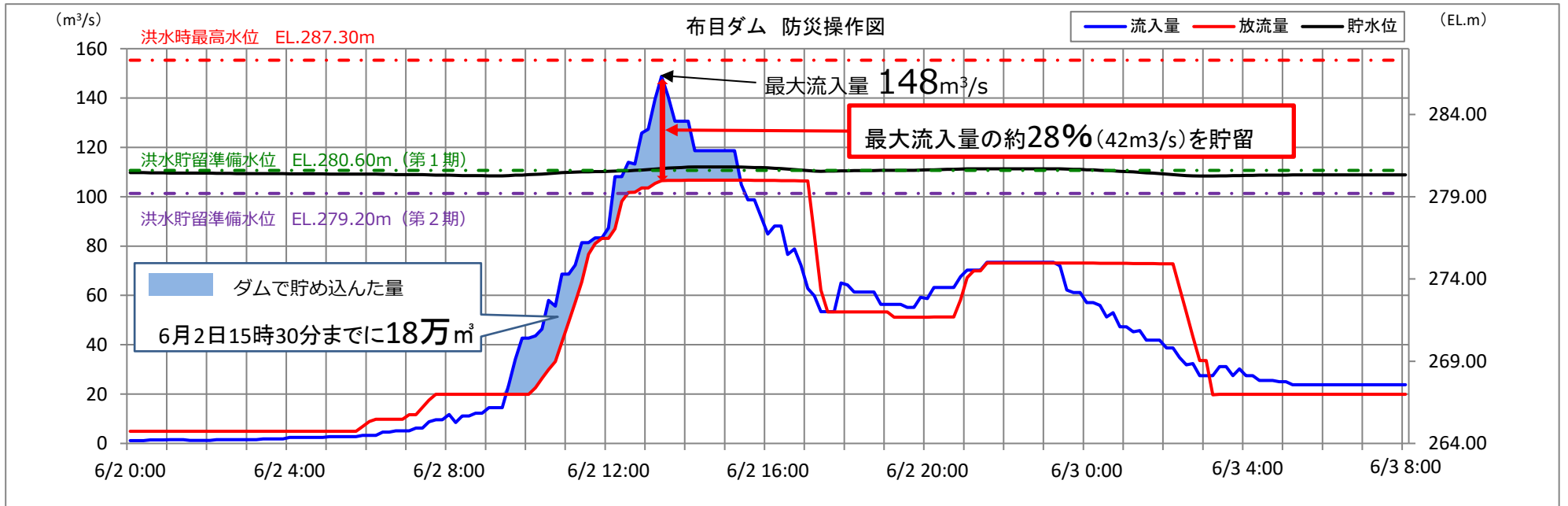
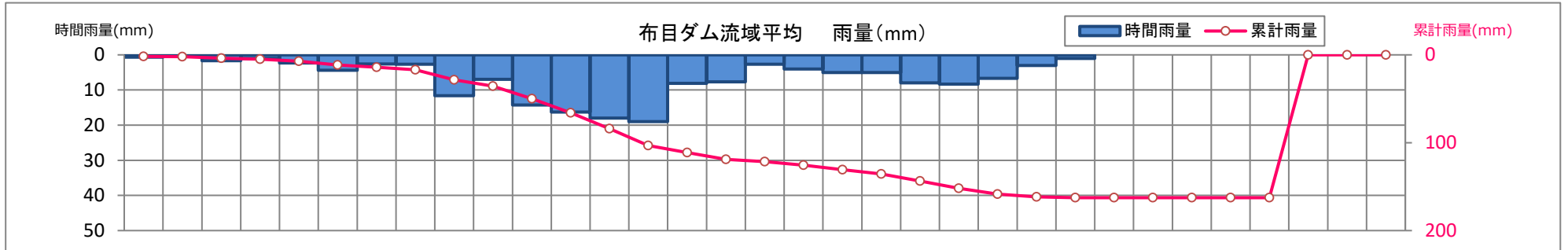


6月2日 14:40  
ダム放流量 106m<sup>3</sup>/s

洪水調節

-- ダムがなかった場合に推定される水位

# 布目ダムの防災操作



# 布目ダム概要

## 【ダムの諸元】

ダム型式：重力式コンクリートダム

(わきダム：ロックフィルダム)

堤体積：約331千 $m^3$  (わきダム：約271千 $m^3$ )

堤高：72.0m (わきダム：18.4m)

堤頂長：322.0m (わきダム：128.0m) 合計450.0m

流域面積：75  $km^2$

湛水面積：0.95 $km^2$

管理開始：平成4年4月

布目ダム全景



## 【ダムの目的】

### 1. 洪水調節

貯水池に洪水を貯留することにより、下流河川での水位上昇を抑え、下流沿川地域の洪水被害を軽減する。

### 2. 水道用水

水道用水として、奈良市に最大1.1263 $m^3/s$ 、山添村に最大0.0097 $m^3/s$ を供給する。

### 3. 流水の正常な機能の維持

布目川の既得用水の補給等、下流河川の環境保全等のための流量を確保する。

布目ダム貯水池容量配分図

